

【事故例と試験例】（選定した試験の例）

【事故例1】接続部の着火

製品例：コードリール 浴室乾燥機

長期間の継続使用により、速結端子部の接続部において接触抵抗が増加し、板ばねと屋内配線の芯線間でアークが発生して発熱し、速結端子の板ばねリリース用の樹脂部品に着火した。

<<上記のような事故を防ぐには。>>

電線の接続部については、長期使用によって接続部に緩みが生じて発熱し、その熱によって端子近傍の樹脂部品が着火する可能性があることから、接続部が緩みにくい構造であるか及び端子近傍の樹脂の耐火性が十分であるかの確認をすることをお勧めします。

【試験例A】ヒートサイクル試験

この試験は、電線の接続端子に電流を通電（暖め）及び停止（冷却）を加速的に繰り返す、接続部に緩みが生じることがないかを確認する試験です。この試験を実施することにより、長期使用による接続部の緩みにくさを確認することができます。

【試験例B】グローワイヤー試験

この試験は、接続部及びその近傍に使用されている樹脂に対して、850℃程度に熱した棒を押しつけ、その樹脂の耐火性を確認する試験です。この試験を実施することにより、仮に長期使用において接続部が緩んで、発熱したとしてもその接続部及びその周囲に着火しやすいものがないかを確認することができます。